

# 令和6年度 決算の状況

6年度の決算は、9月に行われた市議会で審議され認定を受けました。市民の皆さんが納めた税金や、国・都からの補助金などが、皆さんの暮らしやまちづくりのためにどのように使われたのかをお知らせします。

市の会計は「一般会計」、「特別会計」、「企業会計」に分かれています。企業会計の決算の状況は4ページをご覧ください。

## 一般会計・特別会計

### 一般会計は収入・支出とも減少

一般会計・特別会計の決算の状況は、下の表のとおりです。

一般会計は、行政を運営するために必要となる基本的な収支を管理している会計です。

収入は530億2370万円、支出は515億2707万円でした。

5年度と比べると、収入は、都支出金や地方特例交付金など

が増えたものの市税や国庫支出金などが減ったため、17億6208万円(3.2%)減少しました。

支出は、庁舎外壁等改修工事や学校給食共同調理場整備事業などの普通建設事業費が減ったことにより、11億4343万円(2.2%)減少しました。

### 市税収入は減少

市税収入は206億307万円でした。5年度と比べると、法人市民税や個人市民税が減ったため、19億2625万円(8.5%)減少しました。

市税の収納率は、市税全体で98.9%と、5年度から増減はありませんでした。

### 支出額は市民1人当たり44万5613円

一般会計の支出額を市の人口11万5632人(令和7年1月1日現在)で割ると、市民1人当たり44万5613円の支出をしたこととなります。その内訳は、下の図のとおりです。

性質別に見ると、5年度と比べて、定額減税調整給付金などの扶助費が増加し、学校給食共同調理場整備事業などの普通建設事業費が減少しました。

令和6年度一般会計・特別会計の決算






	最終予算額	収入額	支出額	収支
一般会計	550億6738万円	530億2370万円	515億2707万円	14億9663万円
特別会計	国民健康保険	123億5543万円	114億6325万円	2億2875万円
	介護保険	103億297万円	103億1296万円	2億1663万円
	後期高齢者医療	32億327万円	31億7639万円	3896万円
	中神土地区画整理事業	3億9517万円	3億1181万円	4522万円
	中神駅北側地域整備事業	12億2738万円	10億1780万円	586万円
合計	825億5160万円	793億591万円	772億7386万円	20億3205万円

## 支出額を市民1人当たりに換算した額は44万5613円







### 目的別に分けると

民生費	22万7347円	総務費	6万5602円	教育費	5万4658円
障害者・高齢者福祉、児童福祉、生活保護など		庁舎管理、徴税、統計、選挙事務、住民登録など		小・中学校教育、社会教育、公民館活動など	
衛生費	3万6785円	土木費	2万6935円	公債費	1万5284円
ごみ処理、保健衛生、予防接種など		道路管理、公園整備、市営住宅の維持管理など		市債(市が借り入れたお金)の返済	
※その他(消防費、商工費、労働費、農林費、議会費) 1万9002円					

### 性質別に分けると

扶助費	16万1660円	物件費	8万1147円	人件費	5万6482円
生活保護費、児童手当、保育所運営費など		委託料、公共施設の管理費など		市長や市職員の給料、議員・委員報酬など	
繰出金	4万4372円	補助費等	3万9333円	普通建設事業費	3万78円
国民健康保険など特別会計へ支出される経費		東京消防庁への消防事務委託金、他団体への補助金など		道路の新設・改良工事費、校舎の改築工事費など	
※その他(公債費、積立金、維持補修費) 3万2541円					

### 市税収入の内訳

市 民 税	
個人市民税 72億1343万円	法人市民税 14億9226万円
	
固定資産税	都市計画税
92億5120万円	16億7127万円
	
市たばこ税	軽自動車税
8億1016万円	1億6475万円
	
合計額 206億307万円 (市民1人当たり17万8178円)	

### 財政力指数と経常収支比率の推移

財政力指数とは、行政を運営するために必要なお金を地方公共団体がどの程度自力で調達できるかを示す指数です。数値が高いほど財源にゆとりがあることを示します。1を下回ると財源不足となり、それを補うために国から普通交付税が交付されます。

6年度は、5年度に法人市民税が一次的に増収した影響で、単年の指数が1を上回る1.044となり、普通交付税が不交付となりました。

なお、7年度は財源不足が生

じているため、5億168万円の普通交付税が交付される予定で

左のグラフは過去3年間の平均値です。6年度の指数(4.6年度)の平均値は、5年度の指数0.973を上回る1.006となりました。

経常収支比率とは、市税のよ

うに毎年入ってくる収入に対して、人件費・扶助費・公債費といった必ず支払わなければならないお金がどのくらいあるのかを示す指標です。数値が低いほど財政にゆとりがあり、施策の開始や事業の計画変更など新たな行政需要に対応しやすいこと

を示します。6年度は5年度に比べて9.8ポイント増の94.4%となりました。

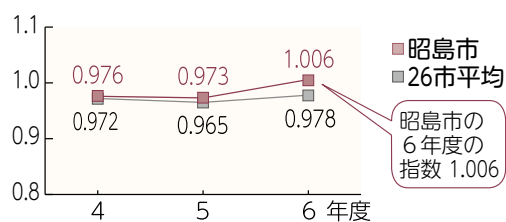
以上が6年度一般会計・特別会計の決算の状況です。物価高騰の影響が続く中、学校給食費の無償化や水道料金・下水道使用料の基本料金の減免など、社会情勢に応じた事業を行いました。

今後も、市民サービスの維持・向上のために、限られた財源を有効に活用するよう努めていきます。

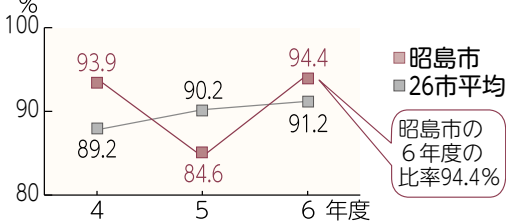
☆一般会計・特別会計については財政課へ。

### 財政指標の推移

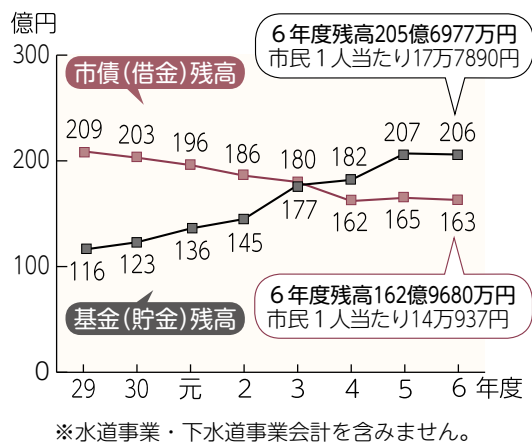
財政力指数(過去3年間の平均値)



経常収支比率



### 市債・基金残高の推移



## 令和6年度に行った主な事業と森林環境譲与税の使いみち

安全で安心して住み続けられるまち	
消防ポンプ車の購入	3936万円
医療救護体制の整備	860万円
自転車ヘルメット購入費補助	303万円
未来を担う子どもたちが育つまち	
学校給食費無償化	4億7125万円
義務教育就学児医療費助成	2億7451万円
高校生等医療費助成	7675万円
互いに支え合い、尊重し合うまち	
市民総合交流拠点施設の整備 (令和5～7年度の継続事業)	5億6954万円
補聴器購入費補助	357万円
文化芸術、スポーツの振興を図るまち	
みほり体育館の空調機器設置工事	1150万円
文化財資料などの電子化・公開	225万円
子ども国際交流音楽祭の開催	105万円
市制施行70周年記念事業	
市役所に給水スポットを設置	1396万円
オリジナル水筒の作成	979万円
記念式典の開催	225万円



環境負荷を低減し、水と緑の自然環境を守るまち	
太陽光発電設備等設置工事	1771万円
庁舎の外構水景施設(せせらぎ)改修	1495万円
快適で利便性に富んだまち	
都市計画道路3・4・1号の整備	7億6624万円
公園・児童遊園のトイレ改築工事	6143万円
東中神駅自転車等駐車場の整備工事	5004万円
生活を支え、活力を生み出すまち	
高齢者就労支援施設の整備	6292万円
昭島市民くじら祭、産業まつり、郷土芸能まつりの拡充	3349万円
計画実現のために	
水道料金・下水道使用料の減免	4億9265万円
「書かない窓口」の導入	1680万円
庁舎7階改修工事	6094万円
森林環境譲与税の使いみち	
市民総合交流拠点施設整備の基金積立	782万円
市民球場周辺ベンチの設置	455万円
中神小木工品の製作	50万円
民間保育所等整備補助	10万円

## 企業会計(水道事業・下水道事業)

水道事業・下水道事業会計は、複式簿記①を採用しており、収益的収支②と資本的収支③からなっています。

6年度の決算の状況は左の表のとおりです。

水道事業の収益的収支では2億4178万円、下水道事業の収益的収支では1億6898万円の純利益を計上しました。

6年度は、5年度に続き、災害に強い水道施設を整備するための工事、汚水管の浸入水対策

工事や耐震化工事などに取り組みました。

今後も、業務の効率化と適切な施設投資に努めていきます。

☆詳しくは、水道事業会計については水道部業務課 ☎5436111、下水道事業会計については下水道課へ。

### 【用語説明】

①複式簿記Ⅱひとつの取り引きを原因と結果の二面から記録する会計方法  
②収益的収支Ⅱ収益・費用に関する会計で、利益または損失を明らかにする  
③資本的収支Ⅱ資産・負債・資本に関する会計で、水道施設、または、下水道施設への投資額や企業債の増減を明らかにする

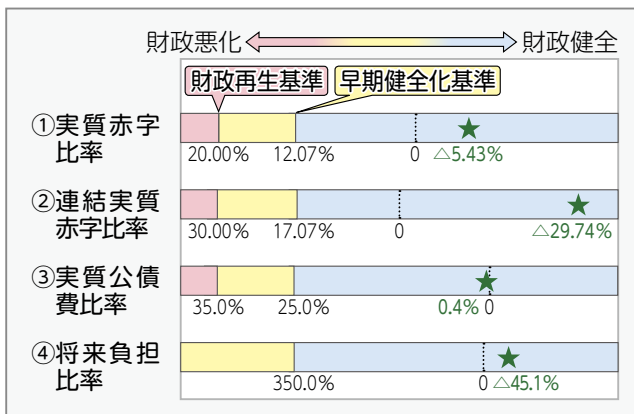
令和6年度水道事業の決算(消費税を除く)

	収入	支出
収益的収支	* 営業収益 17億388万円	* 営業費用 15億5613万円
	* 営業外収益 1億505万円	* 営業外費用 1292万円
	* 特別利益 190万円	
資本的収支	* 負担金 1010万円	* 建設改良費 6億9904万円

令和6年度下水道事業会計の決算(消費税を除く)

	収入	支出
収益的収支	* 営業収益 17億3966万円	* 営業費用 20億9882万円
	* 営業外収益 5億6534万円	* 営業外費用 3835万円
	* 特別利益 115万円	
資本的収支	* 企業債 1億1270万円	* 建設改良費 4億5622万円
	* 他会計補助金 1億769万円	* 企業債償還金 3億8703万円
	* 負担金等 222万円	* 投資その他資産 136万円
	* 補助金 7320万円	

図1 健全化判断比率の状況 (★=昭島市の値)

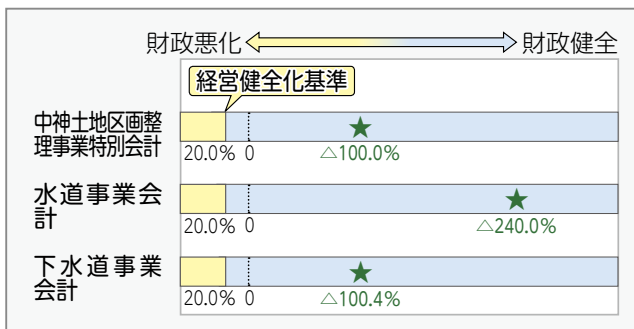


※いずれも、市の財政規模に対する①一般会計・中神駅北側地域整備事業特別会計の赤字額の割合、②一般会計に特別会計などを含めた全会計の赤字額の割合、③全会計の借金の返済に充てた税など一般財源の割合(3か年平均)、④地方債(借金)残高など将来負担すべき実質的な負債の割合です。

※①・②は赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。

※④は負債の程度を示す指標のため、将来負担額を充当可能財源などが上回った場合は△(マイナス)表記となります。

図2 資金不足比率の状況 (★=昭島市の値)



※赤字の程度を示す指標のため、黒字の場合は△(マイナス)表記となります。

## 令和6年度決算に基づく 財政の健全化判断比率・資金不足比率を公表

地方公共団体の財政破綻を防ぐために国が定めた基準により、市では各指標を公表しています。この指標が「早期健全化基準」を超えると財政健全化計画の作成などが義務付けられ、悪化した市の財政を建て直すこととなります。

6年度決算における一般会計及び特別会計の赤字額はなく、健全化判断比率は図1のと

おりとなりました。4つの指標はいずれも早期健全化基準を大きく下回り、「健全」という結果になりました。

しかし、物価高騰に係る経費の増加や公共施設の老朽化への対応などが見込まれるため、市の財政状況は、「健全」ではあるものの余裕はない状況です。今後も健全化判断比率と資金不足比率の各指標が「健全」な水準を保つことができるよう、将来を見据えた計画的な財政運営に努めます。